

南ア月報
(2021年6月)

【内政】

- ムキゼ保健大臣、特別休暇へ
- 南ア保健省による第3波突入の発表
- 国家的災害事態の延長
- ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル2」から「調整されたレベル3」へと引き上げ
- ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル3」から「調整されたレベル4」へと引き上げ
- ズマ前大統領に対する有罪判決

【外政】

- ラマポーザ大統領のG7コーンウォール・サミット参加
- パンドール国際関係・協力大臣、G20外相及び開発大臣関連会合へ参加

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP成長率

<出来事>

- 南ア航空(SAA)がTakatsoコンソーシアムとの提携を発表
- 南アがワクチン技術移転のためフランス及びWHOと協力

【警備】

- 南ア治安情勢（高速道路での強盗事案の発生等）

1 内政

●ムキゼ保健大臣、特別休暇へ

8日、南ア大統領府は、保健省とDigital Vibes社との間の疑惑の契約に係る関連を疑われていたムキゼ保健大臣について、ラマポーザ大統領が同日より、同大臣を「特別休暇 (special leave)」とした旨発表した。同大臣不在の間は、ヌグバネ観光大臣が代理を務める。

●南ア保健省による第3波突入の発表

10日、南ア保健省は、新型コロナウイルス感染者数の拡大に係り、同国が同日より第3波に突入した旨発表した。

●国家的災害事態の延長

11日、南ア政府は国家的災害事態 (the national state of disaster) の1ヵ月延長 (2021年7月15日まで) を発表した。

●ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル2」から「調整されたレベル3」へ引き上げ

15日、ラマポーザ大統領は演説を行い、直近の新型コロナウイルス新規感染者数の増加を受けて、16日よりロックダウン警戒レベルを従前の「調整されたレベル2」から「調整されたレベル3」へ引き上げることを発表した。

●ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル3」から「調整されたレベル4」へ引き上げ

27日、ラマポーザ大統領は演説を行い、ハウテン州を中心とする直近の新型コロナウイルス新規感染者数の急増を受けて、6月28日から7月11日まで、ロックダウン警戒レベルを従前の「調整されたレベル3」から「調整されたレベル4」へ引き上げることを発表した。

●ズマ前大統領に対する有罪判決

29日、ズマ前大統領は、ゾンド調査委員会への出頭命令を無視したことにより、憲法裁判所から法廷侮辱罪による有罪判決を受けた。

2 外政

●ラマポーザ大統領のG7コーンウォール・サミット参加

11日から13日、ラマポーザ大統領は、ボリス・ジョンソン英国首相の招待により、英国・コーンウォールで開催されたG7サミットに出席した。南ア大統領府からの発表によれば、ラマポーザ大統領は、COVID-19ワクチンの知的財産権の放棄を支持し、アフリカや世界でのワクチン生産を急速に拡大するために、バランスのとれた結果となるような交渉を行うことを、すべてのG7参加国に呼びかけた。

●パンドール国際関係・協力大臣、G20外相及び開発大臣関連会合へ参加

28日から30日、パンドール国際関係・協力大臣は、イタリア・マテーラで開催されたG20外相及び開発大臣関連会合に出席した。南ア大統領府からの発表によれば、パンドール大臣は、COVID-19パンデミックの健康面および社会経済面での影響に対処するための国際的な取組に対する南アフリカの支援について、改めて表明した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2021年5月の消費者物価指数（CPI）は前月から0.1%上昇、年間消費者物価インフレーション率は5.2%と前月に比べ0.8%上昇した。（南ア統計局、6月23日）

●為替レート

2021年6月30日付（南ア準備銀行）

7.7209 ランド/円

14.3073 ランド/米ドル

17.0179 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年4月の製造業生産高は、前年同月比87.9%増。主なプラス要因は、鉄鋼、非金属材料、金属材料及び機械で163.0%増、自動車及び輸送機器関連製品で4912.5%増、食料品及び飲料で28.0%増。また過去3ヶ月（2021年2月～2021年4月）の季節調節後生産高は2020年11月～2021年1月の3ヶ月から0.9%増。製造業10部門中の4部門で生産高増となった。（南ア統計局、6月10日）

●鉱業生産高

2021年4月の鉱業生産高は、前年同月比116.5%増。主なプラス要因は、白金で276.1%増、金で177.9%増、マンガン鉱石で208.2%増、鉄鉱石で149.1%増。また過去3ヶ月（2021年2月～2021年4月）の季節調節後生産高は2020年11月～2021年1月の3ヶ月から6.5%増。（南ア統計局、6月10日）

●GDP 成長率

南ア統計局は2021年第1四半期のGDP成長率を発表。2020年第4四半期と今期の比較ではプラス1.1%、前期比年間換算成長率ではプラス4.6%（注：南ア統計局公式のGDP成長率測定方法。今測定方法は前期比の成長率が今後1年間続くと仮定した場合、年間成長率がどのようになるかを測定する方法）。

<出来事>

●南ア航空(SAA)がTakatso コンソーシアムとの提携を発表

11日、ゴードン国営企業大臣は、南ア航空（SAA）株の51%をTakatso コンソーシアムが保持することに内閣が合意したと発表。政府が49%の株式を保有し、アフリカのインフラ及び空港の主要な投資銀行であるHarith General Partners社及び航空経営会社であるGlobal Airways社で構成される同コンソーシアムが51%を保有することで内閣が合意。運営資金は同コンソーシアムのみが提供、再建の初期段階では約30億ランドを提供する予定。また、南ア政府は今事業体の議決権の33%という「ゴールデン・シェア（当館注：政府が持ち株比率に関係なく特別議決権を持てるシステム）」を保持。

●南アがワクチン技術移転のためフランス及びWHOと協力

21日、ラマポーザ大統領は、フランスのマクロン大統領及びWHOのテドロス事務局長とともに、フランス及びWHOと協力し、南ア国内メーカーにワクチンの技術移転を行うための拠点を設立することを発表。同拠点は南アに設立され、メッセンジャーRNA（mRNA）を取り扱うアフリカ大陸初の施設となる。メッセンジャーRNAは、新型コロナウイルスの発生以来、ワクチンの製造に使用されている。

4 警備

●南ア治安情勢（高速道路での強盗事案の発生等）

（1）プレトリア周辺にて、路上に設置された突起物により車がパンクさせられる、パンク修理中に強盗被害に遭うという事件、通称スパイクが依然発生しているが、橋から物を落としてフロントガラスを破壊し、停車していたところを襲うなどスパイク以外の手口が見られた。先月に続きN4、N1、R21などにおいて発生している。

フロントガラス破壊の対策としてはスパイクと同様に夜間の走行をできるだけ控え、車を運転する際は、安全速度と車間距離を維持し、路面や周囲の状況に注意して、たとえフロントガラスが破壊されたとしても、その場ですぐに停車せず安全が確保できる場所まで走行する、警察などに通報するという対応が必要。

（2）また、南ア内政をめぐる抗議活動、集会の実施等も見られたため、過激な行動にならないか今後の動向を注視する必要がある。